

記載例

様式第11-1(商店街まちづくり事業)

5桁の商店街の番号を記載

4xxxx 番号

平成〇〇年〇〇月〇〇日

商店街まちづくり事業事務局 殿

この報告書を作成する日付を記載
※報告書作成日は全ての報告データ
が揃った日以降の日付です。

商店街の正式名称及び代表者役職氏名を記載
※代表者の変更等がある場合は「変更届」が必要です。
詳しくは「代表者の変更について」をご覧ください。

商店街名
代表者名

〇〇〇商店街振興組合
理事長 〇〇 〇〇

印

報告年度を記載

商店街組織の印鑑を
押す(代表者個人印も可)

平成28年度商店街まちづくり事業費補助金事業実施効果報告書

事業実施年度がまたがった
場合はこのように記載

(商店街まちづくり事業)

平成26~27年度商店街まちづくり事業費補助金事業(商店街まちづくり事業)を実施した効果について、
商店街まちづくり事業費補助金交付規程第23条第1項の規定に基づき報告します。

実施した事業(工事等)を簡潔に記載
(例: 街路灯LED化、防犯カメラ設置、アーケード改修 等)

1. 実施した補助事業の概要

〇〇設置、〇〇改修

《以下の2. 事業効果 □安心・安全 □歩行者通行量 □その他(該当の商店街のみ*注1)について》

- ・「当初の予定」「備考」は交付申請書類の中の様式第1-1A「事業計画書」の「数値目標」欄をもとに記載
- ・「達成状況」も忘れずに記載

2. 事業効果

□安心・安全(〇〇の件数)

指標を記載(安心して買い物が出来ると回答し
た人の割合、刑法犯認知件数 等)

	当初の予定	達成状況	備考
事業実施前	〇件		平成24年1月~12月
平成28年度	〇件	〇件	平成28年1月~12月
平成29年度	〇件		
平成30年度	〇件		
平成31年度	〇件		
平成32年度	〇件		

平成28年度報告
が1回目(1年目)
の場合は「28」
から始まる

測定(調査)日または
測定(調査)期間を記載
※測定(調査)内容、
期間等は事業実施前と
同一条件で測定する

単位も記載(〇件 〇% 等)

※歩行者通行量は平常時(イベント等がない日)に測定する

□歩行者通行量

	当初の予定	達成状況	備考
事業実施前	〇人		平成24年〇月〇日(〇) 9:00~19:00
平成28年度	〇人	〇人	平成28年〇月〇日(〇) 9:00~19:00
平成29年度	〇人		
平成30年度	〇人		
平成31年度	〇人		
平成32年度	〇人		

平成28年度報告
が1回目(1年目)
の場合は「28」
から始まる

測定日・曜日・時間を記載
※平日・休日、測定時間、
測定場所等は事業実施前と
同一条件で測定する

単位(人)も記載

指標を記載(空き店舗率、〇〇の件数 等)

*注1 交付申請時に「その他」を設定していない場合は記載不要

□その他(〇〇)

	当初の予定	達成状況	備考
事業実施前	〇〇%		平成24年3月31日
平成28年度	〇〇%	〇〇%	平成29年3月31日
平成29年度	〇〇%		
平成30年度	〇〇%		
平成31年度	〇〇%		
平成32年度	〇〇%		

平成28年度報告
が1回目(1年目)
の場合は「28」
から始まる

測定(調査)日または
測定(調査)期間を記載
※測定(調査)内容、
期間等は事業実施前と
同一条件で測定する

単位も記載(〇件 〇% 等)

3. 当初の予定が達成できていない場合において、その後の具体的な対応策

【安心安全】対応策

- (例)防犯パトロールの強化
- (例)清掃活動
- (例)来街者への防犯の声掛け

【歩行者通行量】対応策

- (例)商店街の魅力をPRし、来街者の固定化を図る
- (例)〇〇イベント等の中で、安心して買い物ができる商店街だとPRする

□安心・安全 □歩行者通行量 □その他(該当の
商店街のみ)で達成できなかった項目について
商店街が考える対応策を記載。
達成した項目については記載不要。